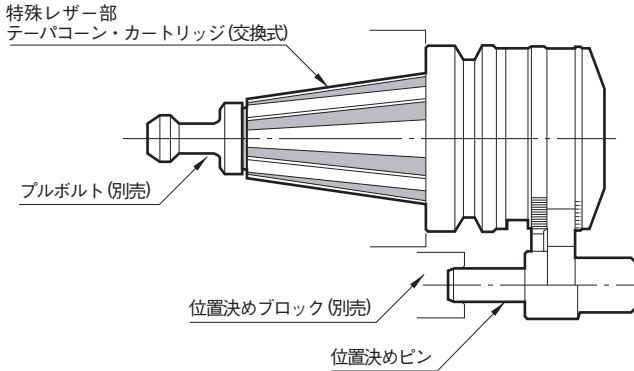


ご使用前に必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

OPERATION MANUAL DOWNLOAD SITE
http://big-daishowa.com/manual_index.php



本体仕様

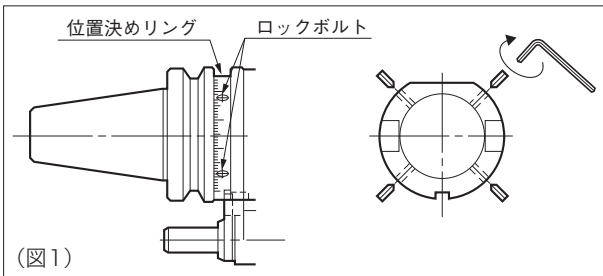


！ ご注意

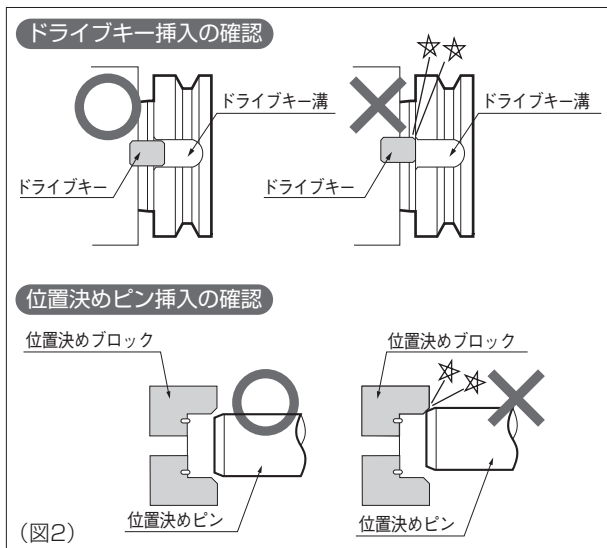
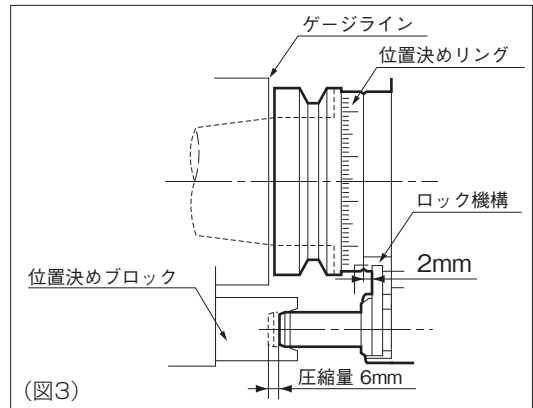
- ・ BT主軸とBIG PLUS主軸での共用はできません。それぞれに専用のオートクリーナをご用意ください。
- ・ 位置決めブロック及びプルボルトはオートクリーナに付属しません。別途お買い求めください。

マシニングセンタで使用する前に

- 1 位置決めブロックの取り付け、位置決めピンの長さ及び角度の調整が完了したら、ホルダを手動で機械主軸に取り付けます。取り付け前に、位置決めリングのロックボルト(4カ所)のゆるみがないことを確認し、Lレンチにて再度、増し締めを行ってください。(図1)
- 2 位置決めブロックにより位置決めピンが6mm圧縮され、位置決めリングよりロック機構が外れたことを確認してください。チェックの基準として位置決めリングの端面と位置決めアームの隙間が約2mmであることを確認してください。(図3)



この時に、機械主軸のドライブキーがオートクリーナのキー溝にスムーズに入ること、位置決めピンが位置決めブロックにスムーズに入ることを確認してください。(図2)



- 3 ATCにて①②と同様のチェックを行い、各部がスムーズに作動するかを確認してください。
- 4 マガジンに安全に収まるかを確認してください。また、マガジン内をホルダが回転する際に、マガジンカバーなどと干渉しない事も確認してください。

！ ご注意

- マシニングセンタによってホルダの質量や工具の大きさの制限によりATCできない場合がありますので、機械の仕様書をお読みいただき確認のうえご使用ください。
- 位置決めピンの作動量が規定量(6mm)以上に作動するとケースに偏荷重を与え、ベアリングに異常な負荷が加わり、発熱やベアリングの寿命低下につながりますのでご注意ください。また、位置決めピンの作動量が規定量以下の場合、ロック機構が外れず、この状態で主軸を回転させると、ホルダが破損する恐れがありますのでご注意ください。

使用方法

ATCにてオートクリーナを機械に装着し、200min⁻¹にて3秒程度主轴を回転させます。

[サブプログラム例]

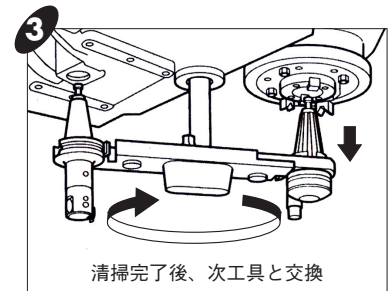
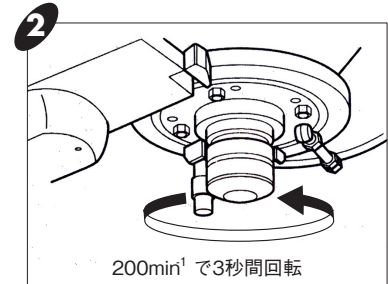
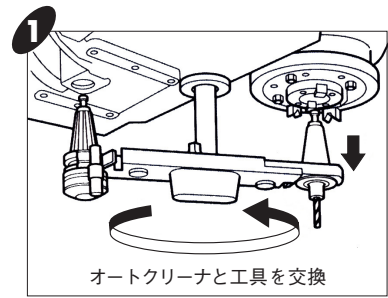
A 加工サイクルごとにオートクリーナを使用する例

T11 工具番号11 (オートクリーナ) 呼び出し
 M06 工具交換
 S200 M03 回転数200min⁻¹ に設定し、正回転
 G04 P3000 3秒間ドウエル
 M05 回転停止
 M99 サブプログラム終了

B 加工サイクル5回ごとにオートクリーナを使用する例

IF[#1LT5]GOTO10 変数#1が5未満の場合、N10へ
 #1=0
 T11 工具番号11 (オートクリーナ) 呼び出し
 M06 工具交換
 S200 M03 回転数200min⁻¹ に設定し、正回転
 G04 P3000 3秒間ドウエル
 M05 回転停止
 N10
 #1=#1+1
 M99 サブプログラム終了

- ・上記のプログラムは、ファナック製NC装置の例です。ご使用の制御装置によっては異なる場合があります。詳しくは制御装置の取扱説明書をご覧ください。
- ・B例では、制御装置にカスタムマクロ機能が必要となります。
- ・工具番号T11及び変数名#1は、説明のために用いています。実際にプログラムを作成する際には適切な番号を割り当ててください。



テーパコーンカートリッジの交換方法

テーパコーンカートリッジは交換式です。クリーナ部が汚れたり損傷した場合はお客様で交換いただけます。交換用カートリッジは右表の型式にてご用意ください。

テーパコーンカートリッジ	適合シャンク
ASC40	#40
ASC50	#50

1 プルボルトを取り外します。

2 テーパコーンカートリッジを押し下げると、先端部にリング状の止め輪が出てきます。本体の切り欠き部にマイナスドライバや千枚通しなどを差し込んで止め輪を外してください。

3 テーパコーンカートリッジを本体から取り外します。

4 外周4箇所 (#40タイプは3箇所)のキャップボルトを外し、内歯車を取り外します。

5 新しいテーパコーンカートリッジに内歯車を挿入し、キャップボルトを締め付けます。

本体側ギヤ部との噛み合わせに注意しながら、テーパコーンカートリッジをセットしてください。

6 止め輪を本体の溝部にはめ、プルボルトを取り付けます。